

琉球新報 & 沖縄大学共同企画

沖縄の子どもの貧困、私たちの課題④

子どもの 貧困政策論

—これまでをどう評価し、将来に何を求めるのか—

内閣府の予算で始まった沖縄の子どもの貧困対策事業は2年目を終わろうとしている。県内各地で広がった事業がどのような展開となっているのか。さらに、今後の継続の可否を握る事業の「成果」とは何なのか。それをどのような施策に結びつけていくのか。内閣府と県の立場から現状認識と将来像を語っていただく。また、この事業に懸命に取り組む市町村職員と居場所の運営者に登壇していただき、「居場所」と「支援員」の動きを軸に、現場で展開される施策が子どもたちにどのような変化を与えているのか、それが「成果」となることとは何なのかについて語り合いたい。

聴講料
無料

2018年 2月17日(土)

時間・13:15~17:00
場所・沖縄大学アネックス共創館
※裏面に地図があります。

プログラム

13:15 開会・ご挨拶

13:15 沖縄大学ブランディング事業による
子どもの貧困研究

コーディネーター
島村 聡 (沖縄大学人文学部地域文化学科准教授
沖縄大学地域研究所長)

13:55 国と県が目指す子どもの貧困政策の到達点

「沖縄における子供の貧困問題への取組み
～内閣府の立場から～」
重永 将志氏 (内閣府沖縄総合戦略推進事務局 室長)

「沖縄県における子どもの貧困対策について」
川満 孝幸氏 (沖縄県子ども生活福祉部 子ども政策
政策課 子ども政策政策課 課長)

コーディネーター
島村 聡

15:30 子どもの居場所と支援員のイキてる関係

「那覇市の子どもの貧困対策と
支援員のお仕事」
山城 忠信氏 (那覇市福祉部保健管理課 部長(副参事))

「子どもの居場所の現場から見たこと」
金城 隆一氏 (特定非営利法人 沖縄青少年自立活動
センターちゅらゆい 代表理事)

コーディネーター
島村 聡

17:00 終了



重永 将志 (内閣府沖縄総合戦略事務局 室長)

Masahiro SHIGENAGA
1973年北海道生まれ。1997年厚生省入省。2000年から厚生労働省雇用均等・児童家庭課で政策企画課長。2008年から石川県健康福祉部(当時県庁)で生活保護課対策等を担当し、2017年7月より現職。



川満 孝幸 (沖縄県子ども生活福祉部 課長)

Takayuki KAWAMI
1973年宮古島市(旧上野村)生まれ。1996年沖縄県庁入庁。2013年子ども生活福祉部政策推進課長に就任。2015年より子ども生活福祉部青少年・子ども政策課子ども政策政策チーム室長として、「沖縄県子どもの貧困対策計画」の推進策策定及び子どもの貧困実態調査に携わる。



山城 忠信 (那覇市福祉部保健管理課 部長(副参事))

Tadamasa YAMASHIRO
1983年沖縄県生まれ。1999年那覇市役所入庁。以来ごみ問題関係部署に11年間。その後環境課に4年間等を経て2011年度より現職に就任。現職では主に自立支援関係の業務に携わっている。



金城 隆一 (特定非営利活動法人 沖縄青少年自立活動センター 代表理事)

Takayuki KINOSHITA
1973年沖縄県生まれ。1992年よりアトリースクールで不登校問題に関わる。1994年より大島の若者支援の民間団体「浪舟クラブ」。2000年より沖縄へ移住し2010年NPO法人ちゅらゆいを設立。2011年に障がい事業所「ココット1」。2013年に那覇市委託事業を受託し不登校の子どもの居場所「Kukuku」を開所。現職に在る。

コーディネーター



島村 聡 (沖縄大学人文学部地域文化学科 准教授 / 沖縄大学地域研究所長)

Satoshi SHIMAMURA
那覇市役所での福祉実務経験を経て、2013年から同大で、障がい者自立支援制度や福祉コミュニティに関する講演を担当。沖縄県子どものみらい実行会議事業実行委員を務める。